

## 10m メッシュDEMによる全国立体地形解析図の作成 Preparation of the digital stereoscopic topographic maps of Japan using 10m DEMs

白澤 道生<sup>1\*</sup>, 横山 隆三<sup>1</sup>  
SHIRASAWA, Michio<sup>1\*</sup>, YOKOYAMA, Ryuzo<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(株) 横山空間情報研究所

<sup>1</sup>Yokoyama Geo-Spatial Information Lab.

国土地理院の10mDEM(基盤地図情報)を用いて、日本陸域の立体地形解析図4種(1)立体傾斜角度図、(2)立体地上開度図、(3)立体地下開度図、(4)立体標高陰影図を作成した。これらの主題図は平面図としては広く利用されているものである。これらの図面は、3Dディスプレイでの表示や余色立体(アナグリフ)による印刷が可能である。前者は任意の縮尺・領域をシームレスに表示できる。後者は様々な縮尺での印刷に対応する。

立体地形解析図では、各主題図の情報と標高情報の同時表示による豊富な地形判読が可能である。我々は立体地形解析図研究グループを結成し、立体地形解析図の利活用法について検討を進めている。現在取り組んでいるテーマは、活断層判読、地質構造判読、海成段丘判読、地すべり判読、地形分類図の作成、防災計画、ハザードマップ作成、などである。現在までに得られた結果の一部は本セッション内の関連発表を参照されたい。

キーワード: 数値標高モデル, 立体地形解析図

Keywords: Digital elevation model, Stereoscopic topographic map